

関係各位

センチュリー・システムズ株式会社
代表取締役 田中 邁

RADIUS サーバアプライアンス FutureNet RA シリーズが eduroam に対応

センチュリー・システムズ株式会社(本社:東京都武蔵野市、代表取締役:田中邁、以下:センチュリー・システムズ)は、RADIUS サーバアプライアンス **FutureNet RA** シリーズの最新ファームウェアで国際無線 LAN ローミング基盤 eduroam(エデュローム)に対応できるように機能強化を行いました。2014 年 1 月 31 日から弊社 Web サイトで公開します。

eduroam(<http://www.eduroam.jp/>)は、欧州のTERENAで開発された教育・研究機関用の国際無線LAN ローミング基盤です。eduroamには、2014年1月現在、eduroam には国内59機関・世界約70か国(地域)が参加しており、キャンパス無線LANの国際的なデファクトスタンダードになっています。eduroamに参加することで、所属機関で発行されたアカウントを用いて、eduroam参加機関のアクセスポイントや公衆無線LANサービスの一部などを利用できます。

当社の中小規模向けでデスクトップタイプの RADIUS サーバアプライアンス **FutureNet RA-730**、および大規模向けでラックマウントタイプの **FutureNet RA-1200** は、認証サーバとして高い評価を頂いており、これまでに多くの企業や教育機関で採用されています。今回、新たに RADIUS proxy 機能を実装し eduroam に対応したことにより、所属機関内における接続と eduroam を利用した所属機関外での接続の 2 種類の認証を 1 台のサーバで実現できます。

/// センチュリー・システムズ株式会社について ///

センチュリー・システムズは、エンタープライズから組み込みまでのネットワーク分野を中心に、ハードとソフトの開発をおこなう開発会社です。**FutureNet®**ブランドでの自社製品の提供を中心として、製品のカスタマイズや新規開発を含む受託開発、OEM 提供等にも対応しています。受託開発では M2M、センサネットワーク、遠隔監視制御、高信頼ネットワーク、専用ゲートウェイなどの装置/システム開発や通信プロトコルのライセンス提供などで幅広い実績を持っています。

- ・会社名 : センチュリー・システムズ株式会社
- ・所在地 : 東京都武蔵野市境 1-15-14
- ・代表者 : 代表取締役 田中 邁
- ・事業内容: ネットワーク製品ブランド FutureNet シリーズの開発・販売、製品のカスタマイズ、OEM 提供、ネットワークシステムの受託開発、コンサルティング

● お問い合わせ先

FutureNet RA シリーズに関するご質問、お問い合わせは弊社営業部までお願いします。

なお、ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

電話 0422-37-8112

FAX 0422-55-3373

電子メール press-release@centurysys.co.jp

ホームページ <http://www.centurysys.co.jp/>

以上、製品更新の紹介とさせていただきます。何卒よろしくお取り計らいの程、お願い申し上げます。

FutureNet はセンチュリー・システムズ株式会社の登録商標です。

/// FutureNet RA-730/RA-1200 の主な仕様 ///

製品名		FutureNet RA-730	FutureNet RA-1200
通信インタフェース		Gigabit Ethernet (Auto MDI/MDX) × 3	Gigabit Ethernet (Auto MDI/MDX) × 2
IP ルーティング方式		スタティック	
RADIUS サーバ機能	ポート番号	1645/1646、1812/1813 1645/1646 と 1812/1813 同時利用可能 認証用ポート、アカウント用ポートの任意設定も可能	
	認証方式	PAP/CHAP、EAP-MD5、EAP-TLS、EAP-PEAP、 EAP-TTLS	
	最大登録クライアント	250	1,000
	最大登録ユーザ	2,000	50,000
	RADIUS PROXY	○ (eduroam 対応)	
プライベート CA 機能	Active Directory との連携	○	
	LDAP との連携	○	
	証明書発行	PEM/DER 形式、PKCS#12	
	証明書数	2,000	10,000
	鍵長	512, 1024, 2048 から選択	
	X.509 対応	V3 拡張 Key Usage 選択	
	失効理由選択	○	
パケットフィルタ	20 エントリを設定可能		
多重ログイン制限機能	対応 (1~9 の同時接続数制限が可能)		
冗長化機能	Active-Active 方式の認証二重化 プライマリ-セカンダリ方式の設定情報の同期		
本体設定	Web ブラウザからの GUI 設定 基本設定ウィザード (Web 設定画面内)		
ユーザ管理	ファイルによるユーザ情報の一括登録/取り出し、 一時的な認証許可/不許可の制御		
運用管理機能	3 レベルの管理権限、 認証ログ、アカウントログ、システムログの閲覧、 SYSLOG、SNMP、SNMP Trap 対応、 NTP クライアント機能、ファームウェアの更新		
ネットワーク診断ツール	パケットキャプチャ機能、到達性確認機能、 ルート確認機能、名前解決確認機能		
外形寸法	216mm(W) × 176.6mm(D) × 44mm(H)	437mm(W) × 503mm(D) × 43mm(H)	
重量 (ケーブル等除く)	約 1.36Kg	約 11Kg	
電源	AC100V ※ AC アダプタ添付	AC100V ~ 240V	
動作保証環境	温度 0°C ~ 40°C、 湿度 10% ~ 85% (結露なきこと)	温度 10°C ~ 35°C、 湿度 8% ~ 90% (結露なきこと)	
規格	VCCI-Class A 準拠、RoHS 指令対応		

/// 価格、販売等 ///

FutureNet RA-730 (<http://www.centurysys.co.jp/products/securityserver/ra730.html>)

定価: オープンプライス (実勢価格: 36 万円程度)

FutureNet RA-1200 (<http://www.centurysys.co.jp/products/securityserver/ra1200.html>)

定価: 1,900,000 円 (本体価格 (税抜))

ご購入については弊社代理店様にお問い合わせください。